

テーマ：認知症における医療と介護の橋渡し：行動心理症状（BPSD）の見える化

【事業主の概要】

- ・所在地：豊後大野市
- ・代表者：代表取締役社長 羽田野 美和子

【プラン概要】

認知症患者の行動・感情を数値化するクラウドサービスの開発を行ない、医療従事者及び介護従事者が正確な患者情報を共有することで適切な医療に繋げる。

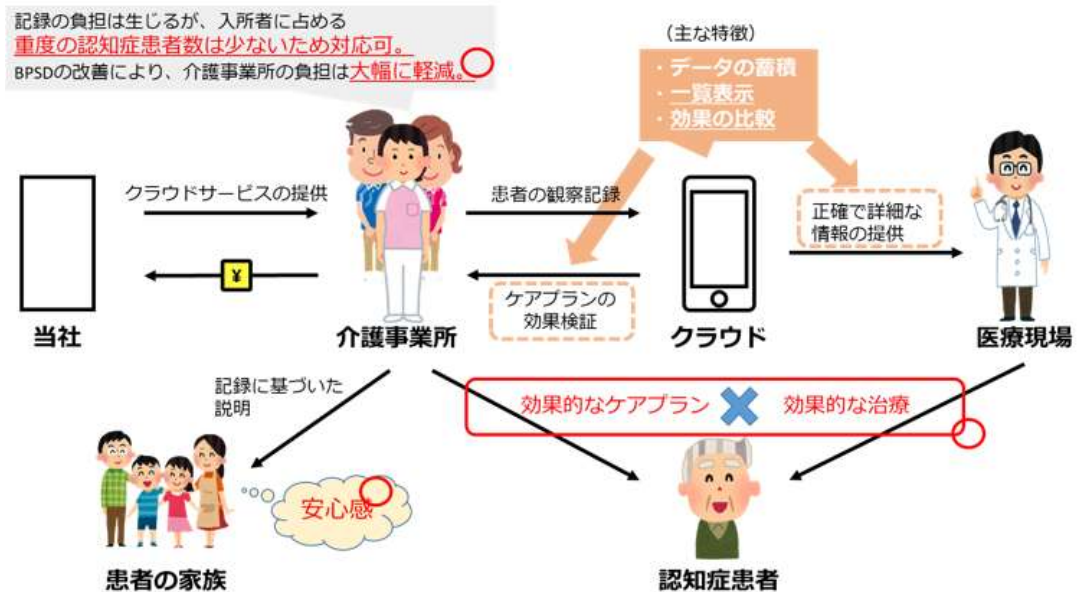
○特徴

・行動心理症状(BPSD※)の程度を3段階で評価、感情の状態を5段階で評価、時系列に記載し1ヶ月の情報をビジュアル化。

※BPSD(行動心理症状)とは・・・暴言や暴力、興奮、抑うつ、不眠、幻覚、徘徊など、置かれている環境や、人間関係、性格などが絡み合って起きるもの。

・正確な患者情報を医師に伝え、薬の量の調整などの治療や、適切なケアの効果の検証が可能となる。

○イメージ図



見える化

